議第1319号

平成30年6月21日付け 都計第150号の2 熊本県知事付議

熊本県都市計画道路の変更の件(惣領木山線他1路線:益城町)

平成30年6月29提出

熊本県都市計画審議会 会長 両 角 光 男

都計第150号の2 平成30年6月21日

熊本県都市計画審議会 会長 両角 光男 様

熊本県知事 蒲島 郁夫 知事印

熊本都市計画道路の変更の件(惣領木山線他1路線:益城町)について このことについて、都市計画法第21条第2項において準用する同法第18条第1項の規定に より別添のとおり貴審議会に付議します。

熊本都市計画道路の変更 (熊本県決定)

都市計画道路3.5.94号木山宮園線、3.5.95号惣領木山線を次のように追加する。

		名称		位置		区域			構造	<u>.</u>	
種別	番号	路線名	起点	終点	主な 経過地	延長	構造 形式	車線数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	備考
幹線	3.5.94	木山宮園線	益城町 大字木山 字居屋敷	益城町 大字宮園 字一ノ迫	益城町 大字宮園 字辻	約1,190m	地表式	2車線	14.0m	幹線街路と平面交差 3ヶ所	
街路	3.5.95	惣領木山線	益城町 大字惣領 字木神	益城町 大字寺迫 字中原	益城町 大字馬水 字大辻	約3,760m	地表式	2車線	14.0m	幹線街路と平面交差 5ヶ所	

「位置、区域及び構造は計画図面表示のとおり」

都市計画を変更しようとする理由

●3·5·94号木山宮園線、3·5·95号惣領木山線

通行機能を喪失し、避難や救急、復旧活動の大きな支障となった。

益城町市街地は、熊本都市計画区域マスタープランにおいて「郊外部市街地」に位置付けられ、 幹線道路沿道を中心に地域生活サービスに資する施設を配置し、緑豊かな低密度の住宅地と調 和した良好な住環境の充実を図ることとしている。

しかし現状は、狭隘な道路や旗竿敷地により構成された密集市街地を呈しており、市街地内の交通渋滞対策や歩行者・自転車の安全な通行空間の確保がまちづくりの喫緊の課題となっている。 併せて、熊本地震では、市街地内の多くの箇所において、倒壊した家屋等により道路が塞がれ、

益城町では、「益城町復興計画」を策定し、災害に強いまちづくりを推進するため、適切に幹線街路を配置し、災害時にも機能を発揮する道路ネットワークを構築することとしている。

町が復興計画において位置付けている、災害に強い道路ネットワークを構成し、都市内の円滑な 交通や歩行者及び自転車の安全な通行空間を確保するため、木山宮園線、惣領木山線を都市計 画道路に追加する。

熊本都市計画道路の変更(新旧対照表)

()内は旧

		名称		位置		区域			構造		
種別	番号	路線名	起点	終点	主な 経過地	延長	構造 形式	車線数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	備考
幹線	(-) 3.5.94	(-) 木山宮園線	(-) 益城町 大字木山 字居屋敷	(-) 益城町 大字宮園 字一ノ迫	(-) 益城町 大字宮園 字辻	(-) 約1,190m	(-) 地表式	(-) 2車線	(-) 14.0m	幹線街路と平面交差 3ケ所	
街路	(-) 3.5.95	(-) 惣領木山線	(-) 益城町 大字惣領 字木神	(-) 益城町 大字寺迫 字中原	(-) 益城町 大字馬水 字大辻	(-) 約3,760m	(-) 地表式	(-) 2車線	(-) 14.0m	幹線街路と平面交差 5ケ所	

熊本都市計画道路(木山宮園線・惣領木山線)の都市計画の変更(案)について

1 付議事項

都市計画道路3・5・94号木山宮園線及び3・5・95号惣領木山線を次のように追加する。

_						
	路線名	道路種別	延長	構造形式	車線数	幅員
ſ	(-)					
	3 • 5 • 94	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	(-)	幹線街路	約1,190m	地表式	2車線	14.0m
	木山宮園線					
	(-)					
- 1	3 • 5 • 95	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	(-)	幹線街路	約3,760m	地表式	2車線	14.0m
	惣領木山線					

()は旧 ※幅員は、有効幅員

2 付議理由

|3·5·94号木山宮園線及び3·5·95号惣領木山線

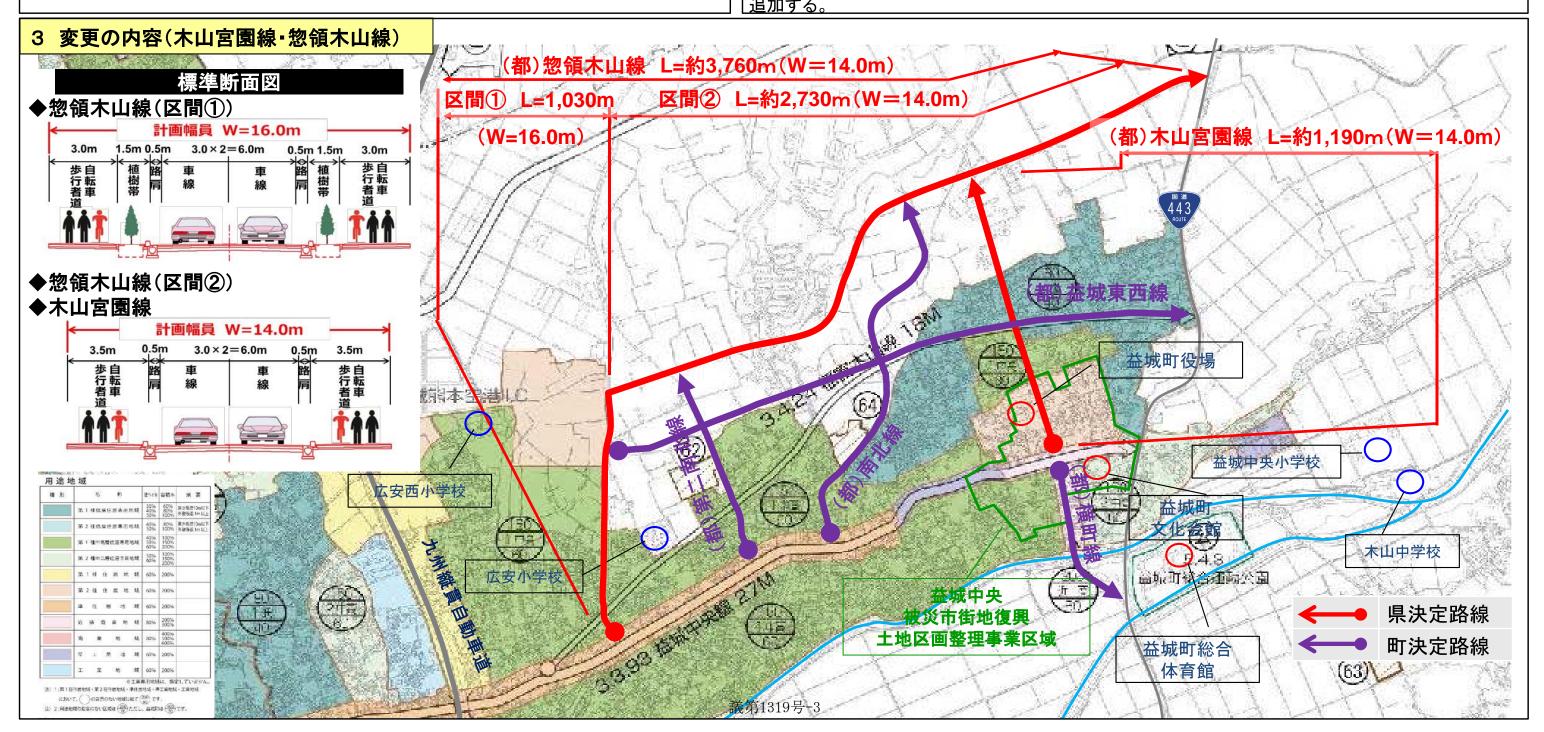
益城町市街地は、熊本都市計画区域マスタープランにおいて「郊外部市街地」に位置付けられ、幹線 道路沿道を中心に地域生活サービスに資する施設を配置し、緑豊かな低密度の住宅地と調和した良好 な住環境の充実を図ることとしている。

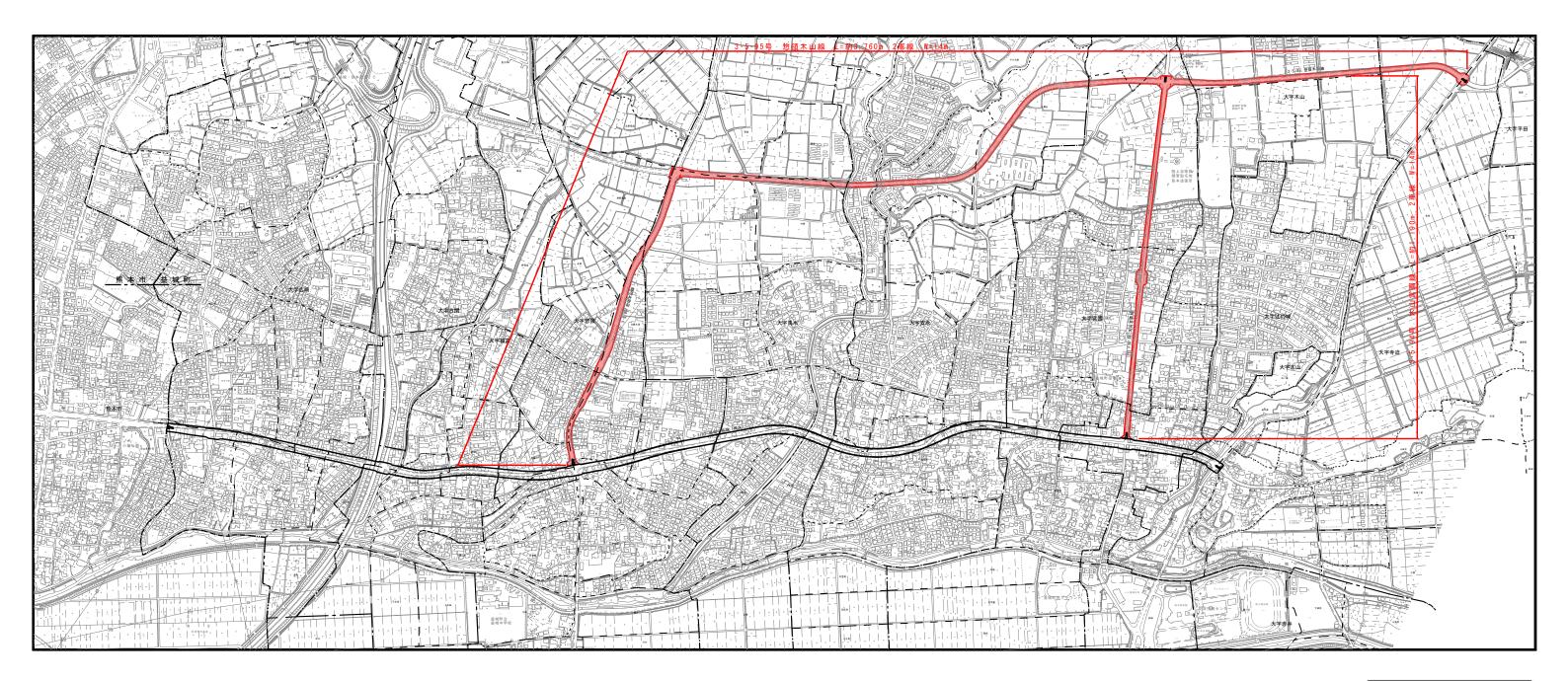
しかし現状は、狭隘な道路や旗竿敷地により構成された密集市街地を呈しており、市街地内の交通渋滞対策や歩行者・自転車の安全な通行空間の確保がまちづくりの喫緊の課題となっている。

│ 併せて、熊本地震では、市街地内の多くの箇所において、倒壊した家屋等により道路が塞がれ、通行 │機能を喪失し、避難や救急、復旧活動の大きな支障となった。

益城町では、「益城町復興計画」を策定し、災害に強いまちづくりを推進するため、適切に幹線街路を配置し、災害時にも機能を発揮する道路ネットワークを構築することとしている。

町が復興計画において位置付けている、災害に強い道路ネットワークを構成し、都市内の円滑な交通や歩行者及び自転車の安全な通行空間を確保するため、木山宮園線、惣領木山線を都市計画道路に追加する。





[]	孔 例】
	都市計画決定区域
	市町村境
	字界 (大字)
	字界 (小字)